

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	— (—)
目標年度	令和13年度
市町村名 (市町村コード)	河内町 (084476)
地域名 (地域内農業集落名)	長竿地区 (長竿、下町歩、十里、庄布川、源清田、田川、金江津)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	369 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	356 ha
② 田の面積	368 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	89 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・当地区は、水田地帯であり、水稻栽培が盛んである。
- ・農業者の高齢化・担い手不足が進行しており、農業後継者の確保・育成が喫緊の課題である。
- ・担い手の耕作地が点在しており、集積化が進んでいない。
- ・地域内の水田は、ほぼ基盤整備が完了しているが、エリアの一部で区画が小さく、作業効率が悪かったり、用水の確保が難しい水田がある。
- ・10年後の意向が売りたい・貸したい農地があり、担い手の引き受け意向とのマッチングが課題であり、今後これら農地の維持及び有効活用が課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・今後も水稻栽培を行う。
- ・離農等による農地集積は、地域の担い手に引き継ぐことで、優良農地の保全に努める。
- ・ドローンの活用によるスマート化による省力化、低コスト化を推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地バンク(中間管理事業)を活用して、地域内の認定農業者等を中心に「農業を担う者」への農地の集積・集約化を基本として取り組んでいく。また、所有者不明農地の利用に向けて、関係機関と連携し対策を講じていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	46.0	%	将来の目標とする集積率
			69.6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・農地中間管理事業の活用により、農業を担う者への集積の取組みが進められている。今後も引き続き、農業を担う者への集積・集約化を進め、団地面積の拡大を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
・中間管理機構を活用し、地域内の認定農業者等を中心に「農業を担う者」への集積を基本として取り組んでいく。集約化に向けた取組として、経営体間の話し合いをもとに、集約化に向けた検討を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・離農等で新たに発生する農地の貸借は、農地中間管理事業を活用し、農業を担う者への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
(3)基盤整備事業への取組
・本地域においては、基盤整備事業が完了しており、有効利用を進める。用水路や排水路の整備については関係機関と連携し、長寿命化対策を実施する等、保全に努める。 ・耕作条件改善事業を活用し、部分的な耕作条件の改善を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内外にかかわらず農業者を受け入れることに加えて、新規就農者に対しては、地域の状況について情報提供を行ったうえで、営農計画との適合性を鑑みながら、就農に向けた支援を行う。 ・地域内の若年層や定年退職者等を将来の担い手候補として、農業後継者の確保・育成に取り組む。地域内の担い手で受けきれない場合については、地域外の経営体を受け入れ、農地の維持に努めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・作業の効率化が期待できる防除作業は、JA等の農作業受託事業を進める。 ・地域内で作業受託を行う事業体へ農作業の一部を委託することで、農作業の効率化を図り、農業経営を維持できる体制を作る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①ナガエツルノゲイトウの被害拡大を防ぐため、対策や防除方法について農業者への情報提供を図っていく。
③農作業の省力化を目標とした、ICTなどを活用した次世代型農業「スマート農業」の推進を図っていく。
④農業者への情報提供などを通じて、農作物の輸出を促進する。
⑦中山間地域等直接支払制度や多面的機能交付金事業の活用により、保全・管理を行うとともに、遊休農地は地域農業に即した利活用が行えるように検討する。
⑧農業の持続や規模拡大を目指すための農業用施設の整備を支援し、担い手の維持確保を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状		10年後 (目標年度:令和 13 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
計	44経営体		168.8 ha	0 ha		282.7 ha	0 ha	

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	稲敷農業協同組合	農薬散布	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和13年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
1	利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	担い手4	
2	認農		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	担い手7	
3	認農		水稻	0.3 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	担い手9	
4	認農		水稻	1.7 ha	ha	水稻	3.8 ha	ha	担い手19	
5	認農		水稻・麦類	0.5 ha	ha	水稻・類	0.7 ha	ha	担い手22	
6	利用者		水稻	0 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	担い手32	
7	利用者		水稻	1.7 ha	ha	水稻	2 ha	ha	担い手35	
8	認農		水稻	0 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	担い手40	
9	認農		水稻	0 ha	ha	水稻	14.3 ha	ha	担い手43	
10	認農		水稻	0 ha	ha	水稻	1.9 ha	ha	担い手44	
11	認農		水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha	担い手47	
12	認農		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	担い手49	
13	認農		水稻	1.5 ha	ha	水稻	6.6 ha	ha	担い手58	
14	利用者		水稻	0 ha	ha	水稻	4.5 ha	ha	担い手59	
15	認農		水稻	12.7 ha	ha	水稻	15.7 ha	ha	担い手62	
16	認農		水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	担い手74	
17	認農		水稻	5.8 ha	ha	水稻	9.7 ha	ha	担い手78	
18	認農		水稻	0 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	担い手79	
19	認農		水稻、麦類	0 ha	ha	水稻、麦類	0.2 ha	ha	担い手83	
20	認農		水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	担い手89	
21	利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	担い手90	
22	認農		水稻	2.1 ha	ha	水稻	3.6 ha	ha	担い手91	
23	利用者		水稻	5.1 ha	ha	水稻	11.3 ha	ha	担い手100	
24	認農		水稻	10 ha	ha	水稻	11 ha	ha	担い手107	
25	認農		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	担い手114	
26	利用者		水稻	1.6 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	担い手115	
27	利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	30 ha	ha	担い手117	
28	利用者		水稻	2.9 ha	ha	水稻	12 ha	ha	担い手126	
29	認農		水稻、麦類	1.5 ha	ha	水稻、麦類	2.2 ha	ha	担い手132	
30	認農		水稻	2.5 ha	ha	水稻	5.2 ha	ha	担い手135	
31	認農		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	担い手146	
32	認農		水稻	2.8 ha	ha	水稻	3.1 ha	ha	法人1	
33	認農		水稻	4.9 ha	ha	水稻	4.9 ha	ha	法人3	
34	認農		花き	0 ha	ha	花き	0.4 ha	ha	法人5	
35	認農		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	法人6	
36	認農		露地野菜	1.5 ha	ha	露地野菜	1.5 ha	ha	法人8	
37	認農		水稻、いも類	7.9 ha	ha	水稻、いも類	6 ha	ha	法人9	
38	認農		水稻	1.4 ha	ha	水稻	10.1 ha	ha	法人12	
39	認農		水稻、麦類	0.3 ha	ha	水稻、麦類	0.3 ha	ha	法人13	
40	認農		水稻、麦類	87.4 ha	ha	水稻、麦類	98.4 ha	ha	法人14	
41	認農		水稻	4.9 ha	ha	水稻	5.2 ha	ha	法人15	
42	利用者		水稻	0 ha	ha	水稻	2.6 ha	ha	法人16	
43	認農		水稻	0.6 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	法人18	
44	認農		水稻、麦類	1 ha	ha	水稻、麦類	1.6 ha	ha	法人19	
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		